

## ■ 研修会・講習会位置づけ

- ◇ 共通な競技会データを準備し、競技会支援システムの画一的な実務講習を実施する。
  - 事前設定必要項目に関して、最低限の設定手順の習得を計る。
  - 予めデータを用意し、実務講習の効率化を図る。（穴埋めや、確立したデータによる運用例紹介）
- ◇ 対象
  - 1) 研修会 資格受験者（初心者） → 全ての基本的運用をマスター
  - 2) 講習会 資格保持者（既取得者） → 事前運用は、応用部分 + 運用サンプル多数。 ※ 熟練度に差がある。

## ■ 教育の基本概念

- ◇ 基本的（標準的）な運用を習得させる。 → 応用出来る人は、有る意味対象外。応用例は、公表しない。  
例）システム保存、ドライブ・フォルダー位置等
- ◇ 可能な限り、その場で答える。 → 質問は任意に。疑問に思った時に質問させ、必ず答える。  
※ 上記質問項目については、終了後レポート提出のこと。次への反映

## ■ 手順（資料を活用）

- ※ 最新版インストールは必須 → 最新システムのインストールは、既導入済みとする。  
※ 未インストール者は、他者のコンピュータを参照。
- ※ 研修・講習用資料もDL済みのこと。 ← これに関しては、当日配布でも可？（時間は掛からない）
- ※ ステップは、3パターン →
  - ① 導入・設定の確認 講習会の導入
  - ② **真っ新** 基本情報の入力 【シラバス等参照】
  - ③ **CSV取込み** 選手データ入力 【選手データ活用】
  - ④ **予備保存で取込み** 運用トレーニング 【実務データ活用】
  - ⑤ その他 賞状・CSVデータの作成
  - ⑥ 質疑・応答 本来は逐次実行のこと。事後の連絡先紹介。
- ※ **データ取り扱いに注意！** → **使用するデータは、全て実名を使用**している旨を説明し、注意を勧告。

## ■ 資料

- ※ 本講習に必要な資料は、以下の通り → 将来的に、HPよりDL可能とする。
- ◇ データ
  - 1) CSV取込データ.txt → 競技区分設定後、H配置講習前に、選手データとして取得する。
  - 2) 990001 読込Data.zip → 実務講習前に、『予備保存』戻し機能で、読込む競技会全データ。  
※ 講習前に解凍して、990001 フォルダを作成しておく。
- ◇ 資料
  - 1) 支援システム運用講習ガイダンス.pdf → 本資料
  - 2) 支援システム運用講習サンプルシラバス.pdf → サンプルシラバス
  - 3) 支援システム運用講習サンプル審判表.pdf → 審判員派遣通知書・審判員審査設定表
  - 4) 支援システム運用講習会H設定.pdf → 競技会H・UP数設定表
  - 5) 支援システム運用講習タイムテーブル.pdf → タイムテーブル
  - 6) 支援システム運用講習申込書サンプル.pdf → サンプル申込書（3カップル分）
  - 7) 支援システム運用講習受付簿サンプル.pdf → サンプル受付簿（変更の有る一部）
  - 8) 支援システム運用講習審査表入力サンプル.pdf → サンプル審査表（予選・決勝の一部）

## □ 事前準備

- ※ 当然のことながら、受講者はパソコンを持参し、最新版のシステムをダウンロード済みで有ること。  
また、上記データ及び資料も、それぞれのパソコンに準備させること。 → 之を怠ると、講習開始が非常に遅れる！

- 1) データ及び資料は、任意のフォルダー（例えば、【支援システム練習用】）を作成し、保存する。
- 2) データ 2) のZip ファイルは、上記フォルダー内に、事前に展開しておくこと。  
※ ファイルを右クリック後、『すべて展開』を選んで解凍処理を実施する。  
通常は、【990001 読込Data】フォルダーが作成され、その中に全てのファイルが展開される。
- 3) 資料に関しては、1) 以外（これは講師用）のpdf ファイルを、印刷して配布することが望ましい。

## ■ 講習内容

### ◇ ステップⅠ 【 準 備 】 [ フォルダー ] ※ サンプル運用の為、新規に『 990001 』を作成する。

- 1) 運用パスワード → 「 User 」枠内の所有者を確認。  
※ 当該地域の運用パスワード『 ZZZZ-ZZZZ-ZZZZ-ZZZZ 』を調べておく。
- 2) システム → システムバージョンを確認。 最新システム？ ← HPで確認しておく。
- 3) 選手データ → 選手データの日付を確認。 最新データ？ ← 自分で最新版日付を確認。
- 4) データフォルダー新規作成 → シラバス参照。 『 990001 』フォルダーを作成。  
※ 99～は暫定で有る。正しい競技会公認番号は、『 YMMNN 』である事を紹介。
- 5) フォルダー選択 → 既存データを参照する場合の変更方法。

### ◇ ステップⅡ 【 真っ新 】 [ SSS\_i.dat ] ※ シラバスデータを適宜打込む。

- ※ 大会諸項目設定 → サンプルシラバスの項目を打ち込み設定。  
※ 役員項目は、自分（運用者）の個人番号を検索し設定。他は、不問。
- ※ 競技区分設定 → サンプルシラバスの 1 4 区分設定。
  - ① 選手権 + 準決勝から競技 / ② J級連続入力 / ③ ミドルシニア
  - ④ X区分 + 名称設定 / ⑤ F区分 + 単科項目（W / サルサ）  
※ 先ず、『 競技内容設定 』の、『 競技コード 作成 』画面より設定する。  
② の連続入力については、【 逆部門コピー 】を活用する。  
⑤ のWに関しては、単科であるが、1 種目のみのチェックを実施。  
サルサに関しては、【 特別単科 】で設定する（W チェック）。  
余力が有れば、メンテナンス画面より、『 総合戦 』の文字変更を実施。

### ※ 申し込み処理 ※ ダミー申込書を用いて申し込み処理を実施。

- 1) 申込処理 → ダミー申込書使用。
  - ① 990001 + 990002 [ D/C ] JCS カップル登録
  - ② 990001 + 990004 [ D/C ] JCL カップル外 ・ MBS 出場区分違反
  - ③ 990003 + 未登録 FBS 会員 + 未登録者
- 2) 所属反映 → 反映ボタンの活用方法。

### ◇ ステップⅢ 【 事前処理 】 [ SSS\_mem.dat ] ※ CSV データを用いて、選手データを取得する。

- 注 ) 先ず、CSV データファイルの概要を説明しておく。  
→ エクセル等で作成した選手情報のデータを、カンマで区切ったテキストデータ。  
更に、エクセルで選手情報を作成した場合、選手コードの取扱い [ 頭の 0 が消える ] に注意することを伝える。

#### ※ 選手一覧画面

- 1) 一覧画面 CSV 取込み → 『 選手一覧 』画面の、『 CSV ファイル 』機能を使用して、選手データの取り込みを実施する。（選手データ及び申し込み競技区分を獲得）  
※ 内容は、持ち級以外の全項目（含受付 No）。読込み時のチェックに注意！
- 2) 発番処理 → 背番号の並び替え手順。戻し方法を習得。  
※ 上記読込みデータは、受付順に区分バラバラに成っている。（要修整）
- 3) 編集処理 → 入れ替えの処理方法を習得。（XX 番 ↔ NN 番）

#### ※ 申し込み処理画面

- 1) シニアクラス参加資格 → シニアクラスの参加資格。申し込み処理に戻り、全検索の必要有り。  
※ 現システムは、シニアクラスの参加可否情報は読込めない。（要検索）

#### ※ ヒート設定画面

- 1) ヒート設定 → 各種設定 （詳細は、『 支援システム運用講習会 H 設定.pdf 』を参照）
  - ① 49 組以上 [ % / 組数 ] / ② 30 組程度 / ③ 13 組 / ④ 6 組
- サルサで 16 組 / 1H 設定。ワーニング解除。
- ※ ① CAL は、選手権の為しばらく不問としフリーパス。13 組 1 H オーダー
- ② J1L は、設定のミス。1 H に成っているが、2 H が正解
- ③ MBL は、5 組なので決勝一発であるが、1 次のフリーパス OK
- ④ FBS は、2 組なので無し。
- ⑤ FBL はサルサでしばらく不問なので、16 組 1 H でも OK。チェック解除

※ 競技番号設定画面

1) 競技番号設定

- ダミー進行表で、競技番号を打込み。 【 時間により一部でも可 】
- ※ 『 付番→ 』 ボタンを、活用する。
- 事前設定時に於ける変更方法の内、追加挿入に関しては、『 挿入 』 ボタンの有用性を紹介。
- 但し、当日の変更に於けるは、触らない事（未変更）を、強調すること！

※ 審判員設定画面

1) 審判員設定

- ダミー審判表で打込み（個人番号を有効活用する）。9名を設定（内1人は同姓）。氏名の入力後、『 再設定 』 ボタンを押下。審査表表示を確認する。特に↑
- チーム割り当てをチェックする。6チーム（7名・5名×3・3名×2）作成。

※ 審判員配置画面

1) 審判員チーム配置設定

- 上記ダミー審判表で、担当する競技区分にチーム番号を打込む。
- ※ この際、全ラウンドを埋める意味合いを説明。（急なラウンド追加に対処）

※ データ任意保存ボタン

1) 任意のデータ保存

- ※ このボタンの有用性を説明してください！
- 『 いつ保存？ 』 … 『 今でしょ！ 』

◇ ステップⅣ 【 当日運用 】 [ 仮データ使用 ]

※ 印刷枚数設定画面

1) 印刷物の枚数設定

- 印刷物の宛先表示。纏め印刷（複数枚数の複数部数）の場合の枚数設定。

※ 参加確認画面

- ※ **本ステップでは、全て参加と仮定する旨を説明。実際は次ステップで。**

※ 初期振り分け画面

1) 振り分け

- 自動と縦割り（ミドル区分）をしてみせる。
- ※ MBL の自動・縦割りを実施して、前半の背番号（上位区分参加者）が分散する効果を確認する。

2) 入力処理用Hデータ作成

- 次ステップの実務講習では、入力処理は不可（結果が異なってしまう為）。
- そのため、このステップで入力処理を先に経験するので、Hデータを作成する。
- ※ 内容は、CAS の、1次予選を自動で振り分けする。
- そして、決勝の審査表データを手入力で作成しておきます。手で作れることを習得する。（決勝は6組、背番号は1～3、7～9 審査表参照）。

※ 審査表印刷画面

1) 追加処理

- 審査表印刷後の追加に対処する手順。（任意）

※ データ入力処理

1) データ入力

- ダミーの審査表を見て入力練習。1次予選と、決勝の2パターン。
- ※ 内容は以下の通り。
  - ① 1次T A審判 通常入力（間違いなし）
  - ② 1次T B審判 取り消し・再チェックを理解
  - ③ 1次T C審判 1チェック多い（#13 のマークを消す）
    - 入力画面赤・一覧表で赤を確認、対処方法を習得
  - ④ 決勝T A審判 通常入力（間違いなし）
  - ⑤ 決勝T B審判 順位ダブリ（取り消し後が間違い）

◆ ステップⅤ 【 予備保存画面 】

1) データの受け取り

- ※ 実務講習のため解凍したデータを全て取り込みます。  
折角入力したデータは、全て上書きされます。済みません！と謝ってください。
- 本来は保存専用だが、戻しコピーも可能。  
実務処理のため、データを受け取る。 ※ 本来は、保存が主を強調！

◇ ステップⅥ 【 当日運用 】 【 実務処理 】

※ 参加確認画面

1) 受付表

- ダミー受付名簿使用。
- ① 欠場処理 / ② 区分変更処理 ( 取消し ) / ③ 追加処理  
④ 名前の変更
- ※ 講習の受付簿は、
- ① JCL 5名の不参加。29組→24組になるため、3H→2Hに検討。  
② #284 MBL 受付間違いで、正しくは MBS。  
→ 結果として、MBL は未成立。MBS は +1 ( H & UP は変わらず )  
③ #320 申込み行違いで、JIS 1組追加。情報は名前のみ。  
→ リーダーは会員登録有り。パートナーは未登録 ( 手入力 )
- 上記②によりMBLは未成立となる。競技区分設定で変更する。  
→ 上記③によりJISは2次予選の追加が必要となる。設定を変更する。

2) 未成立による区分変更

3) ラウンド変更

※ データ入力処理

1) 欠場処理

- 1次予選 ( 欠場 )、2次予選 ( 棄権 )、決勝 ( 最下位 ) の3パターン。
- ※ 実務で確認。
- ① JDL 1次 #226 開始後に欠場。入力処理で、不参加取り消し。  
② JDS 2次 #172 開始後に欠場。入力処理で、不参加取り消し。  
③ CAS 決勝 不参加を作って、順位が変更になることを確認。

※ 結果確認処理

1) 決定

- 予めの数に合致。予選で、予定数より多い場合。
- ※ CAS 1次～3次予選、UP 決定を確認 ( 多い場合 )。  
※ JDS 1次～3次予選、UP 決定を確認 ( 丁度の場合 )。

2) フリーパス

- フリーパスの場合の対処方法。
- ※ CAL 1次予選、13組。フリーパスの実際を確認。

3) ヒート変更

- 2次予選結果、同点多数で+1Hのケース。
- ※ JCS 1次予選、48UP → 58UP +1H の処理。

4) 同点決勝

- 準決勝結果で10人。
- ※ JDS 準決勝、11組UP → 5組で同点決勝の処理。手順を習得。

5) 決勝優勝同順位

- 決勝で同点 ( 2名の優勝者 )
- ※ XGL 決勝、結果として2組の優勝者を確認。

#### ◇ ステップⅦ 【 その他 】 [ 賞状・CSV データ作成 ]

##### ※ 賞状作成画面

- 1) 賞状の作成方法 → 初期は、簡単に説明。( サンプルの活用 )

##### ※ 賞状印刷処理

- 1) 印刷処理 → 印刷画面の、印刷区分指定方法を確認。

##### ※ 昇級結果画面

- 1) 意味合いを説明 → 途中の一覧印刷 ( 昇級数の把握 )。終了後の全印刷。

##### ※ 競技一覧画面

- 1) 意味合いを説明 → 内容を確認。

##### ※ 報告処理画面

- 1) 意味合いを説明 → 終了後の印刷処理に関して説明。

##### ※ D S C J 報告

- 1) 意味合いを説明 → 事前 ( 1 W 前 ) ・事後 ( 速やかに ) の 2 通りに関して説明。
- 2) 未成立の確認 → エントリー 5 名当日 2 名 / 参加区分変更により、4 名エントリー
- 3) 未実施競技の確認 → 区分の削除

##### ※ C S V 出力

- 1) 選手データ → プログラム作成。
- 2) 競技番号他 → タイムテーブル作成。

#### ◇ ステップⅧ 【 熟練者 】 [ 複雑な処理体系 ]

##### ※ 発番処理

- 1) Std/Lat 別番号設定 → 発番処理での別発番処理の紹介。

##### ※ 審査表の編集 ( 出来うる内容 )

- 1) 任意の審査表作成 → 自動振り分けに困らない場合。任意に振り分けたい場合。

##### ※ プリンター切替

- 1) 印刷時プリンターの切替え → 2 台のプリンターを接続し、印刷内容によって切り替える。

##### ※ ネットワーク接続

- 1) パソコンのネット接続 → 2 台以上のパソコンを接続して、共通にデータを扱う方法。

##### ※ 2 面運用

- 1) 単純な 2 面運用 → 二つのフロアを、有効活用。1XX 番台と 2XX 番台の紹介。 ※ スケジュール表
- 2) 分割 2 面運用 → 1 競技区分の分割 2 面運用。競技番号 9XX 番代と、審判グループ 9X 番代。

##### ※ 特殊な振り分け方法

- 1) ランダム・シャッフル → 違いの理解。運用の注意点。シャッフルの取り消し処理。

##### ※ 特殊競技区分

- 1) 10 ダンス → S t d / L a t 区分の利用方法。
- 2) 総合 → タイトル文字の変更方法。( メンテナンス画面 )

##### ※ 外人選手の対応

- 1) ランキング戦参加 → 石ころ扱い。( 申し込み処理の中の、外人チェック )

##### ※ 運行表示・H 情報掲示システム

- 1) 表示システムの紹介 → 概略を説明。

##### ※ リアルタイムシステム

- 1) リアルシステムの紹介 → 概略を説明。

◇ 質疑応答事例・最新トピック 【 紹介 】

以上

※ 印刷サンプルに関しては、別途準備のこと。